

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・高度な知識と技術を有した社会が求める人材を育成するため、看護科学大学では学部4年間での看護師教育を全国に先駆けて開始し、4年間の看護基礎教育モデルとなるカリキュラムの検証、見直しを図った。芸術文化短期大学では、積極的に文化庁の補助事業等を活用し、アウトリーチや若手芸術家の育成等に努めた。
②	・地域において県立大学としての機能を発揮するため、看護科学大学では、「看護学生による予防的家庭訪問実習を通じた地域のまちづくり事業」が、県内大学で唯一文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」に採択され、5年計画の事業に着手した。芸術文化短期大学では、長期(半期、通年)に亘り継続して受講可能な県民向け生涯学習講座を開始した。
③	・産業の振興や地域の活性化を推進するため、平成26年1月に別府大学と包括連携協定を締結した。 ・平成25年2月に政策意見交換会を開催した大分大学と一層の連携を図るため、5つの部会(産業経済・地域医療・地域福祉・地域づくり・教育)を立ち上げ、具体的な連携について協議を始めた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
① ② ③	公立大学法人運営費交付金	1,090,020	継続	20/84

【VI. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展」プラン2005見直し策定委員会 (H23. 7)
・高等教育サービスを受ける住民の多様なニーズに応えることができるような大学間の連携を進めていく必要がある。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・研究内容の検証、見直しを図り、さらなる教育の質の向上を図る。 ・看護科学大学では、定期的な健康教室の開催や、継続的な公開講座の実施など、地域のニーズに応える活動を展開する。 ・芸術文化短期大学では、芸術文化人材の育成に努めるとともに、県民向け生涯学習講座の充実を図る。 ・知の拠点である大学と行政が連携し、地域課題の解決や地域活性化に取り組む。